
PRESS RELEASE

ロンドン、2017年9月6日

2017年度、プラチナ市場の需要供給は均衡を維持する見込み

- 2017年度第2四半期に、引き続き供給における制約があるのは明瞭
- 2017年度において、自動車分野需要は、2014年度と同じレベルと見込まれる
 - 6四半期連続で投資需要は堅調

2017年9月6日ロンドン: The World Platinum Investment Council (WPIC、ワールド・プラチナム・インベストメント・カウンスル)は本日、「Platinum Quarterly」最新版を発表しました。これは同機関が独自に実施し、無料で提供する世界プラチナ市場に関する四半期毎の分析です。このレポートでは、プラチナの供給と需要に関する、2017年度の1年間を通じた分析、および第2四半期の分析を行っており、それによると15kozほどの小規模な不足があるものの、全般的に市場の需要と供給はバランスが取れています。

本日のレポートによれば、2017年度の全体的な供給量はさらに減少が見込まれています。これは、現在の市場価格で採算性がない鉱山の閉山によるもので、合計のプラチナ供給量は、前年よりも2%減少して7,795 kozになると予想されています。2次供給は、2016年度と比較して3%の減少が見込まれており、宝飾品のリサイクルの減少量が、増大している触媒リサイクルを上回りました。

需要供給バランスの需要の側では、相変わらず状況は芳しくありません。但し、自動車部門からのプラチナ需要の継続的回復力が見られるのは心強いです。それは、この部門への多くの否定的なコメントへの反証になっています。この部門の年間を通じた予想は3360 kozで、2016年度(3435 koz)をわずかに2%下回るだけで、西欧のディーゼル市場のシェアがさらに減少したにもかかわらず、2015年度と2014年度の自動車需要の総量に極めて近い数字です。

本レポートでは、欧州のディーゼル車のシェアは、小型および中型車の部門で減少が続いているものの、より大きなラグジュアリーカーとMPV(多目的車)部門では、80%近い高さの、強い水準を維持しています。マイルド・ハイブリッド・テクノロジーの適用により、特にCO₂排出量に関して、同クラスのガソリン車に対して、ディーゼル車の効率性の優位が改めて示されています。ディーゼル・マイルド・ハイブリッドの一例は、アウディのiSQ7です。

2017年に、世界全体のプラチナ宝飾品の消費は1%減って、2590 kozになると見込まれていますが、これには、国ごとに需要が著しく異なるという背景があります。この四半期の中国における需要の減少は、他の諸地域、特にインドと米国における増加によって、大きく相殺されました。

PRESS RELEASE

ロンドン、2017年9月6日

本日のデータにより、インドの宝飾品市場の強力な消費の見込みが再確認されます。これは、Platinum Guild International (PGI、プラチナ・ギルド・インターナショナル) によって発表されたデータに符合しており、それによると、2017年度第2四半期に対前年比で、48%の増加が最近報告されています。

世界全体の投資需要は、2017年度第2四半期に90 kozとなっており、地金、硬貨、および上場投資信託(ETF)が増えている一方、取引所の在庫は変わらないままです。これは、6四半期連続でポジティブな投資の需要となっています。本日のデータは、年度の上半期に観測された成長率が、次の2四半期にわたって継続する場合、2017年度の全体的な投資の増加が予想よりも大きくなる可能性があることを示しています。

全体的に、業界の需要のデータは、第2四半期には弱含みで、65 kozから400 koz減少しました。この減少は、石油精製におけるプラント統合のタイミングによって加速されました。しかしながら、このレポートでは、医療機器における使用でプラチナ需要の増大があったことが示されています。

WPIC 最高経営責任者 Paul Wilson (ポール・ウィルソン)によるコメント:

「本日のレポートは、プラチナ市場、および作用している、多くの様々な基礎的ダイナミクスの複雑さを強調しており、それらすべての結果として、市場全体の均衡がもたらされています。供給は明らかに制限されたままで、減少した資本支出の長期的な影響と、上記の操業コストにおけるインフレの増加により、いくつかの地域で影響が出始めています。

プラチナ需要は、全体的に芳しくなく、考えられているよりも明確ではありません。自動車用触媒としてのプラチナの需要は堅調なまま推移しており、一部の予想に反して、本年の全体的な需要レベルは、2014年度とほぼ同じになると予想されます。排出量に関する議論が実際に落ち着いてきたことを確認できるのは喜ばしいことです。これは、プラチナの自動車における使用が、将来の需要の成長に果たす役割を、投資家たちに示すことになると確信しています。我々は、今後の数四半期に、新しいモデルやシリーズで、自動車メーカーがプラチナの搭載を増やすことを期待しています。

最後に、2017年度後半の投資需要が、前半と同じ割合で継続する場合、おそらく当初予想よりも高くなる可能性があるのは、注目すべきことです。本日のレポートは、WPICの市場開発の取り組みによる直接的な影響も明らかにしており、プラチナ地金の資産価値を増やすために、BullionVaultのサービスを使用する投資家の数が増えています。我々は、この秋に、弊社のエキサイティングな市場開発パートナーシップ(プロジェクト)のさらなるアップデートを提供することを楽しみにしています。

「Platinum Quarterly」最新版のダウンロードおよび/または今後調査結果をお受取りになるための登録については、WPICのウェブサイト: www.platinuminvestment.com をご覧ください。

-以上-

PRESS RELEASE

ロンドン、2017年9月6日

表1: 供給、需要、地上在庫の概要

	2015	2016 年度 (予測)		2016年度/2015年度成長率 (%)	2017年度 (予測) /2016年度成長率 (%)	2017年度第1四半期	F度第2四半期
プラチナ需要供給バランス (koz)							
供給量							
地金量	6,150	6,035	5,970	-2%	-1%	1,410	1,485
南アフリカ	4,465	4,255	4,240	-5%	0%	1,015	1,045
ジンバブエ	405	490	445	21%	-9%	115	105
北米	385	395	405	3%	3%	95	85
ロシア	715	715	705	0%	-1%	140	205
その他	180	180	175	0%	-3%	45	45
生産者製品在庫における増 (+) / 減 (-)	+45	+30	+10	-33%	-67%	-60	+70
鉱山生産量	6,195	6,065	5,980	-2%	-1%	1,350	1,555
リサイクル							
自動車触媒	1,190	1,235	1,295	4%	5%	300	330
宝飾	515	625	515	21%	-18%	120	150
工業	5	5	5	0%	0%	0	0
総供給量	7,905	7,930	7,795	0%	-2%	1,770	2,035
需要							
自動車							
自動車触媒	3,245	3,295	3,220	2%	-2%	845	815
ノンロード	140	135	140	-4%	4%	35	35
宝飾	2,880	2,605	2,590	-10%	-1%	640	620
工業							
化学	605	595	580	-2%	-3%	150	140
石油	140	220	100	57%	-55%	45	10
電気	165	160	155	-3%	-3%	40	40
ガラス	200	205	170	3%	-17%	85	50
医療	230	235	240	2%	2%	55	70
その他	330	360	365	9%	1%	90	90
投資							
地金、コインの変化	525	430	250	66%	-50%	80	90
ETF (上場投資信託) 在庫の変化	-240	-10				65	20
取引所在庫の変化	20	85				-10	0
総需要量	8,240	8,320	7,810	1%	-6%	2,075	1,960
残余量	-335	-390	-15	16%	-96%	-305	75
地上在庫	4,140*	2,320	1,930	-17%	-1%		

出典: SFA (Oxford)。*2012年12月31日現在。注: 数字はそれぞれ四捨五入しています。

PRESS RELEASE

ロンドン、2017年9月6日

メディア関係の方は、CNC Communications までご連絡ください。

Claire Maloney または Alexandra Thomas

電話: +44 (0) 20 3219 8803 / +44 (0) 20 3817 9922

wpic@cnc-communications.com

編集者への注記:

***Platinum Quarterly*について**

Platinum Quarterly は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立系で無料で入手できる史上初のレポートです。*Platinum Quarterly* は World Platinum Investment Council の出版物です。これは基本的に、白金族金属市場において権威を持つ独立機関 SFA Oxford(SFA)に依頼し、実施された調査および詳細な分析に、基づいています。

World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナム・インベストメント・カウンスル)について

The World Platinum Investment Council Ltd. (ワールド・プラチナム・インベストメント・カウンスル) (WPIC) は、プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する投資者の方々の強いご要望を受けて、設立されました。WPICの使命は、行動可能な見識と目標を定めた製品開発を通して、プラチナに対する世界的な投資需要を喚起することにあります。WPICは2014年に、南アフリカの世界6大プラチナ生産会社である Anglo American Platinum Ltd(アングロ・アメリカン・プラチナ)、Aquarius Platinum Ltd(アクエアラス・プラチナ)、Impala Platinum Ltd(インバラ・プラチナ)、Lonmin plc(ロンミン)、Northam Platinum Ltd(ノーザン・プラチナ)、Royal Bafokeng Platinum Ltd(ロイヤル・バフोकエン・プラチナ)により設立されました。

詳細情報は、ウェブサイトをご覧ください。 www.platinuminvestment.com

WPIC事務局住所: 64 St James's Street, London, SW1A 1NF

SFA(Oxford)について

SFA(Oxford)は2001年に設立され、白金族金属市場において最も権威のある独立機関の1つとみなされています。本機関の徹底的な市場調査と完全無欠さは、鉱山から、市場、リサイクルに至るコンサルティング業務、並びに、他に類を見ない世界的な業界ネットワークにより裏付けられています。

SFAは、広く多岐にわたる業界知識を有し、価値連鎖の主要分野を、それぞれの専門領域としている9名の専属のPGMアナリスト、および、数多くの国際的な拠点で活躍する提携スタッフからなります。SFAは、お客様に対して、業界の未来に影響する最も困難な質問に対して回答を提供することが可能です。

いかなるデータや論評も、著者の書面による許可なしに、資本市場（資金調達）へのアクセスの特定の目的のために使用されることはできません。

PRESS RELEASE

ロンドン、2017年9月6日

詳細情報は、ウェブサイトをご覧ください: <http://www.sfa-oxford.com>

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の1つで、独特の品質を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物理的および触媒的な性質は、工業への利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としてのユニークな特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナ供給は、2つの主要供給源、すなわち鉱山からの生産とリサイクルによるものです。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルが主流となっています。過去5年間の年間プラチナ総供給量(精製済みオンス)の72% ~ 78%は、鉱山生産によるものです。

世界的なプラチナ需要は堅調で、より多様化しています。プラチナ需要の4大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒における過去5年間のプラチナ需要は、総需要量の37%から41%の間を推移しています。その他の工業分野でのプラチナの様々な使用は、世界総需要量の20%となっています(過去5年間の平均)。同様に、宝飾品におけるグローバルな年間総需要量は、平均で、プラチナ総需要量の35%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も小さいカテゴリーであると同時に、過去5年間で最も変化が大きく、総需要量の2%から11%を占めています(地上在庫の増減を除く)。